

1. 病院報告の概況

1 在院患者数

令和6年の年間の在院患者延数は4,227,966人(前年4,202,398人)で、新入院患者数は115,101人(同112,022人)、退院患者数は114,982人(同111,960人)である。1日平均に換算して在院患者数を見ると11,551.8人(同11,513.4人)で、前年に比べ38.4人増加している。

1日平均在院患者数を病院の種類別にみると、一般病院では9,452.1人(総数の81.8%)で、前年の9,380.4人に比べ71.7人増加し、精神科病院では2099.7人(同18.2%)で前年の2,133.0人に比べ33.3人減少している。

また、これを病床の種類別にみると、一般病床では4,988.9人(総数の43.2%)で、前年の4,866.9人に比べ122人増加しており、精神科病床では3,395.4人(同29.4%)で、前年の3,441.6人に比べ46.2人減少している。結核病床では、9.6人(同0.1%)で前年の9.5人に比べ0.1人増加している。

なお、療養病床では3,157.9人(総数の27.3%)で、前年の3,165.7人に比べ7.8人減少している。

2 外来患者数

令和6年の年間の外来患者延数は3,371,036人(前年3,419,074人)である。1日平均に換算すると患者数は9,210.5人(同9,367.3人)で、前年に比べ156.8人減少している。

1日平均外来患者数を病院の種類別にみると、一般病院では8,530.8人(総数の92.6%)で、前年の8,676.6人に比べ145.8人減少し、精神科病院では679.6人(同7.4%)で前年の690.7人に比べ11.1人減少している。

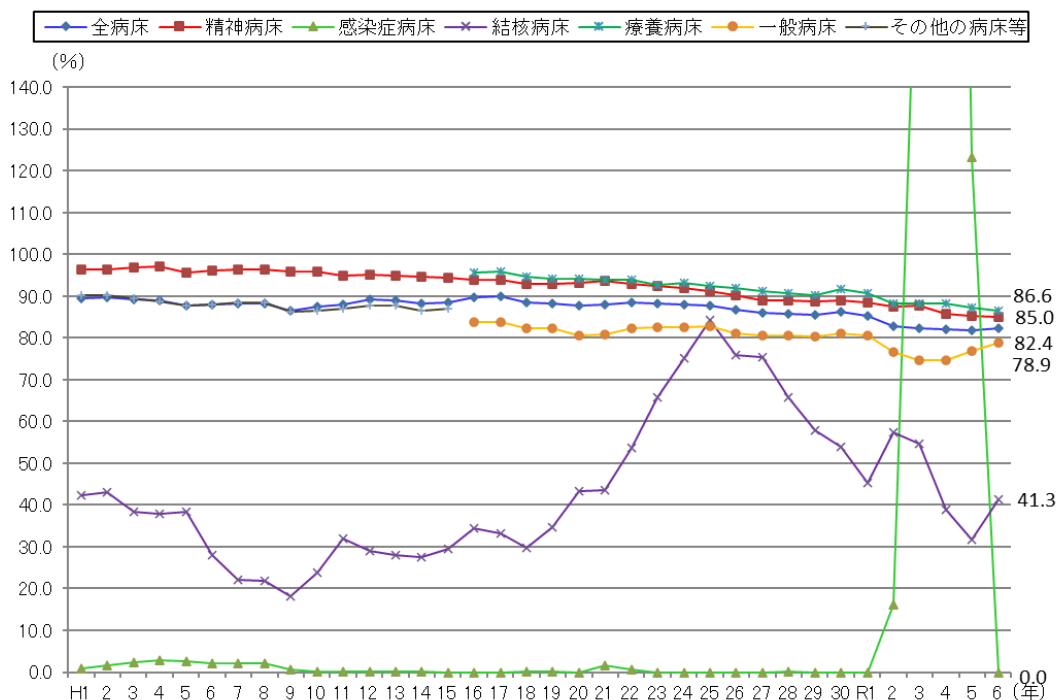
3 病床利用率

全病床における病床利用率は82.4%(前年81.9%)で、前年に比べ0.5ポイント増加している。

病床の種類別にみると、療養病床における病床利用率が86.6%(同87.2%)と最も高く、次いで精神科病床が85.0%(同85.3%)となっている。

保健所別では、杵藤保健所が87.3%と最も高く、佐賀中部保健所が79.1%と最も低くなっている。

図1 病床利用率の年次推移(佐賀県)



(注) その他の病床等は平成16年から療養病床と一般病床に分けて表示している。